

臨床研究「思春期・若年がん患者等を対象とした日本がん・生殖医療登録システム（JOGR）による治療成績解析」について

筑波大学附属病院産婦人科では、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

がん、血液疾患、膠原病、卵巣疾患などの治療により、患者さんが将来お子さんをもつ能力（妊孕性）を低下させることがあります。妊孕性の温存が必要な患者への治療実施前に受精卵・配偶子・性腺の凍結保存を行うことや、治療による性腺のダメージを少なくして妊孕性温存を図る医療のことをがん・生殖医療といいます。

がん・生殖医療を有効に行うためには、患者に対するカウンセリングや妊孕性温蔵治療の提供の体制が整備されることが必要であり、そのためには本医療の実態を正しく把握することが必要です。そのため日本の全国の医療機関で行われたがん生殖医療に関して、がん・生殖医療を受けた患者の原疾患名、原疾患に対する治療、治療による性腺毒性のリスク、妊孕性温蔵実施の有無・内容、妊娠の有無、妊娠の転機などを調査して解析する研究が必要です。日本がん・生殖医療学会はこの目的のために、日本全国でがん・生殖医療を実施している医療施設に対して、実施した治療に関するデータの提供を呼び掛けています。筑波大学附属病院もデータ提供に協力したいと考えています。

② 研究対象者

筑波大学附属病院で2001年1月から2026年3月24日までの間にがん・生殖医療を行った患者さんを対象とします。

③ 研究の方法

患者さんの診療録からがん生殖医療を行う理由となった疾患の状況や、実施したがん・生殖医療に関する情報、凍結保存した受精卵・卵子・精子などの検体を用いた生殖医療の状況などの診療情報を抽出します。抽出した情報はJOGRに施設固有のID、パスワードでログインしてオンライン入力します。その際情報から名前など個人情報を特定するものは省いた状態で提出します。

④ 情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 産婦人科 教授 佐藤豊実

⑤ 研究機関名および研究責任者名

主たる研究機関：埼玉医科大学総合医療センター・産婦人科 研究責任者：高井泰

研究協力機関：日本全国の生殖医療実施施設

本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑥ 利益相反

本研究は日本医療研究開発機構（AMED）の委託研究資金を利用して行われています。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話 029-853-3073 FAX 029-853-3072 産婦人科ステーション

対応可能時間 平日9時～16時